

ZENRIN

証券コード：9474

2017年3月期 第2四半期決算説明会

2016年11月11日

株式会社ゼンリン

Maps to the Future

代表取締役社長

高山 善司

代表取締役副社長

網田 純也

執行役員コーポレート本部長

松尾 正実

1. 2017年3月期 第2四半期決算概要
2. 2017年3月期 通期業績予想
3. 事業概況
4. Appendix

注)本資料には、本資料作成日時時点で入手可能な将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済の動向・市場需要・競合状況・為替の変動等にかかわる様々なリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性がありますことをご承知おきください。

尚、本資料掲載情報は、表示単位未満の端数切捨て、増減率の小数点以下第2位四捨五入し小数点第1位まで記載しております。また、増減率が1000%を超える場合、及び一方若しくは両方がマイナスとなる場合は「－」表記しております。

1. 2017年3月期 第2四半期決算概要

- 1) 決算概要
- 2) 売上高・利益の推移
- 3) 営業利益増減要因
- 4) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高
- 5) セグメント情報
- 6) キャッシュ・フロー推移

1-1) 決算概要

2017年3月期 第2四半期決算のポイント

前年同期比<増収減益>

- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上が堅調に推移
- 売上高は2期連続増収、一般管理費及び時空間情報システムの償却費等の増加により各利益は2期ぶり減益

業績予想比<減収減益>

- 売上高は概ね計画通り推移
- 下期予定の一部費用を第2四半期に計上したことなどから減益

(金額単位:百万円)

	2016年3月期 Q2実績	2017年3月期 Q2業績予想 (5/9)	2017年3月期 修正予想 (10/24)	2017年3月期 Q2実績	前年同期比	増減率 (%)	業績予想比 (5/9)	増減率 (%)	修正予想比 (10/24)	増減率 (%)
売上高	24,734	25,000	24,780	24,783	49	0.2	△216	△0.9	3	0.0
営業費用	24,557	25,000	25,160	25,161	604	2.5	161	0.6	1	0.0
営業利益	176	0	△380	△378	△555	—	△378	—	1	—
営業利益率	0.7%	—	△1.5%	△1.5%	△2.2pt		△1.5pt		0.0pt	
経常利益	422	200	△210	△207	△630	—	△407	—	2	—
親会社株主に帰属 する四半期純利益	119	100	△390	△387	△507	—	△487	—	2	—

※10/24公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

1-2) 売上高・利益の推移

(金額単位:百万円)

売上高

営業利益

経常利益

親会社株主に帰属する四半期純利益

前年同期比

49増加 (+0.2%)

555悪化 (—)

630悪化 (—)

507悪化 (—)

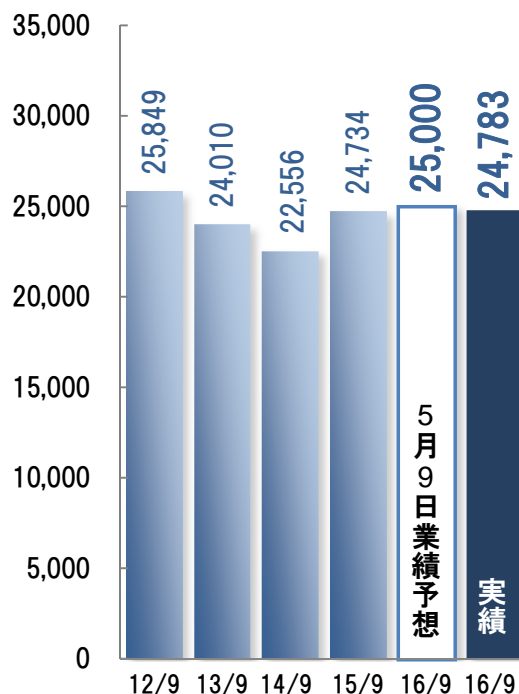
業績予想比
(5/9公表)

216減少 (△0.9%)

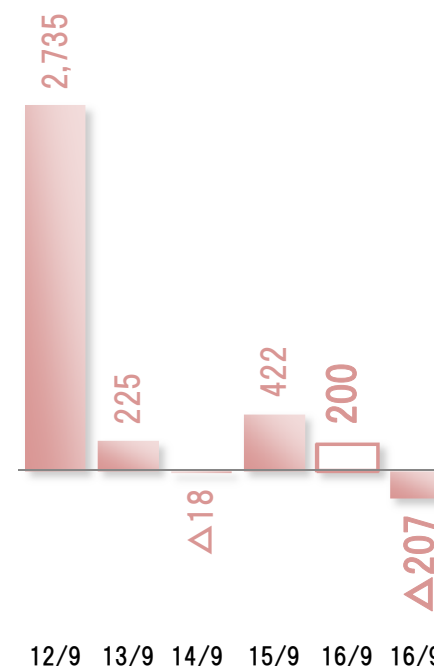
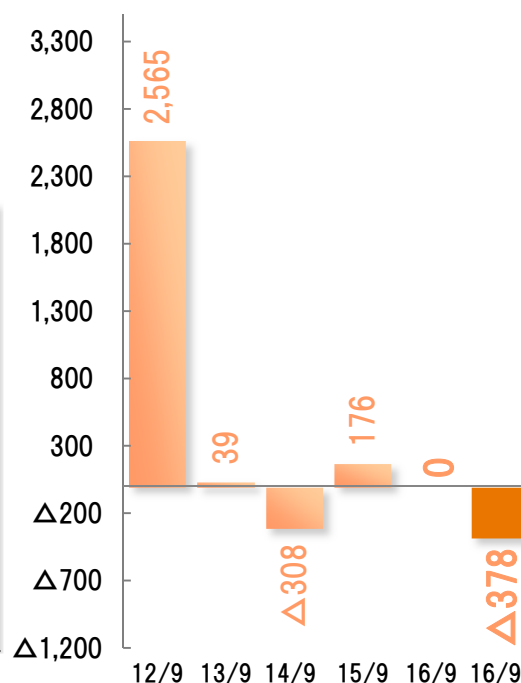
378悪化 (—)

407悪化 (—)

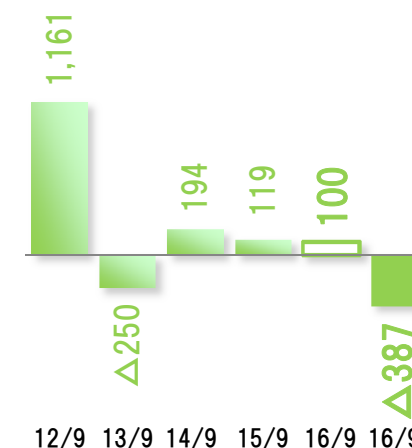
487悪化 (—)



2期連続増収

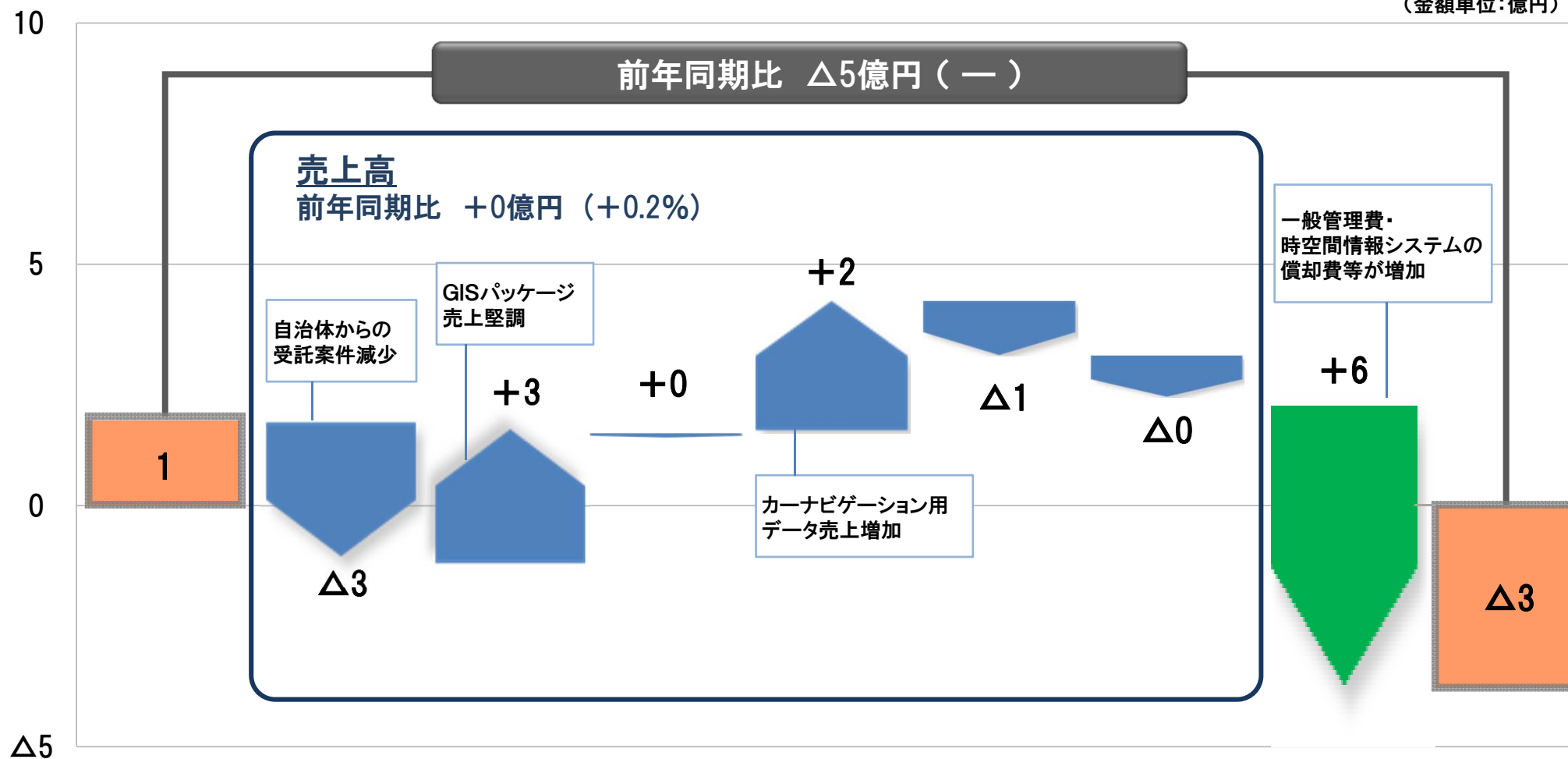


前期利益→損失



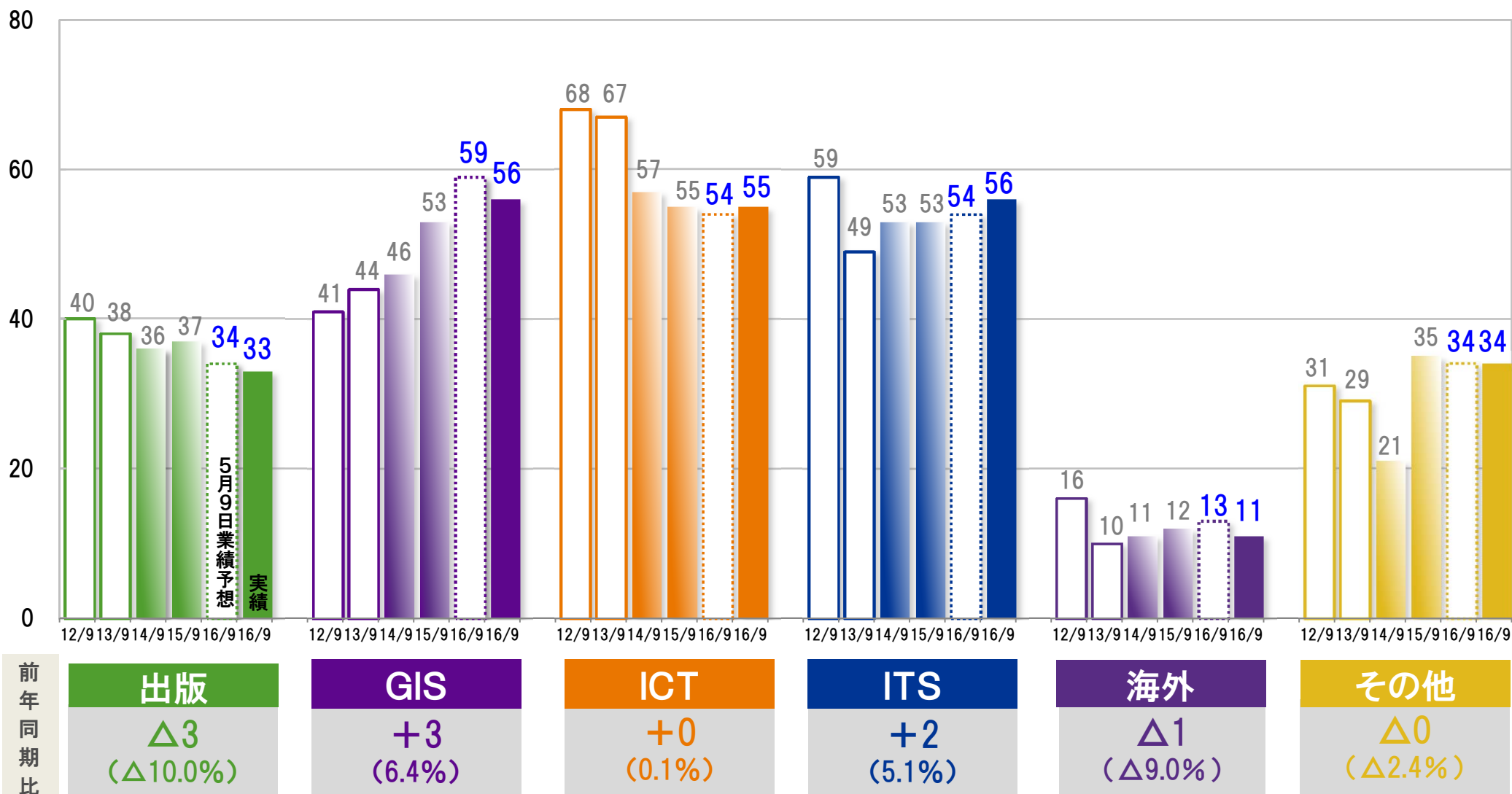
※10/24公表の業績予想の修正値から大きな変更はございません。

1-3) 営業利益増減要因



- 15/9 実績
- 出版
- GIS
- ICT
- ITS
- 海外
- その他
- 営業費用
- 16/9 実績

1-4) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高



※2012年9月期～2013年9月期(白抜き棒グラフ)はZGP2015の事業区分で集計した売上高

1-5) セグメント情報

売上構成
比率

83.4%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



6.7%

2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



9.9%

3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告

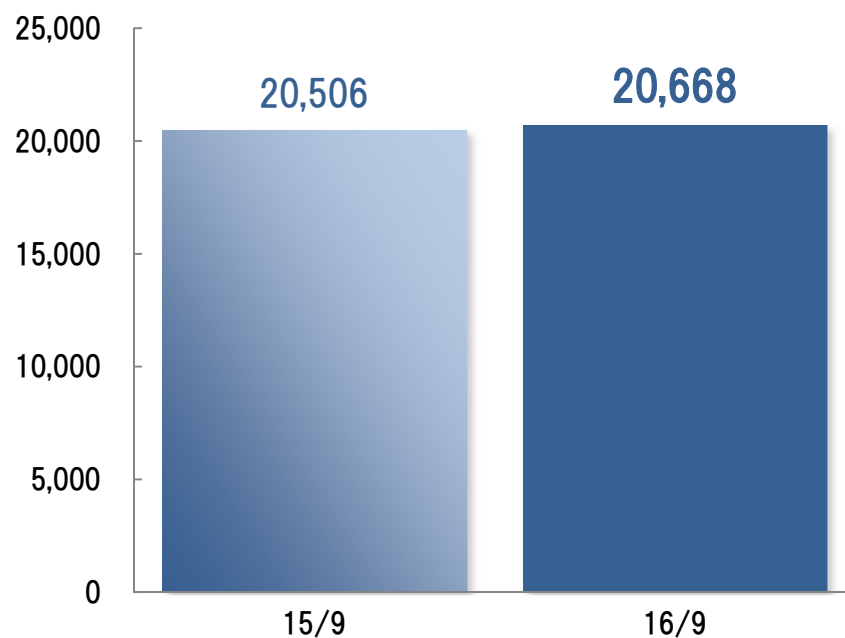


1-5) 地図データベース関連事業

売上高

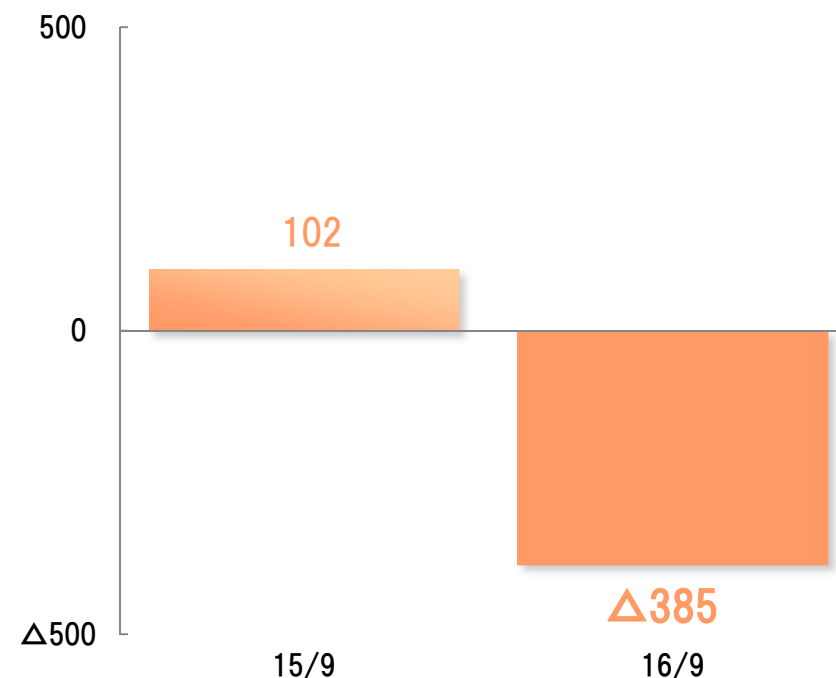
前年同期比

162増加 (+0.8%)



営業利益

487悪化 (-)

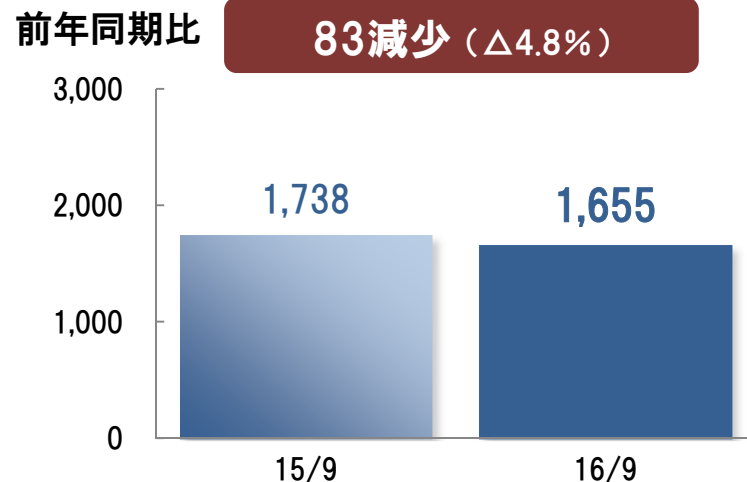


- 住宅地図データベースを活用したGIS関連の売上が堅調に推移
- 人件費など一般管理費の増加に加え、時空間情報システムの償却費などが増加

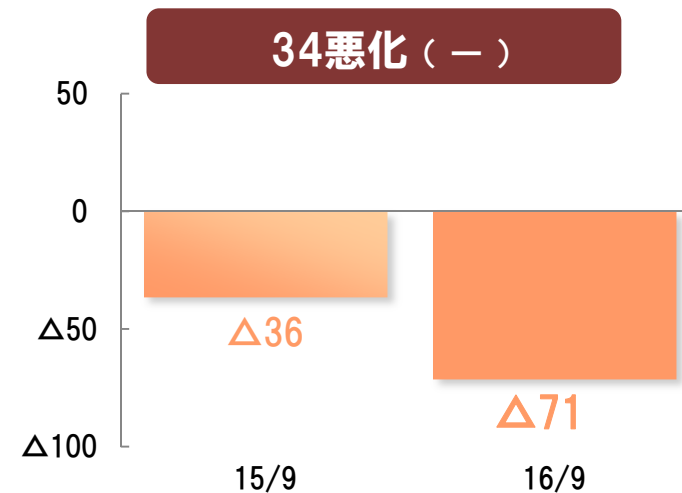
1-5) 一般印刷関連事業・その他

一般印刷関連事業

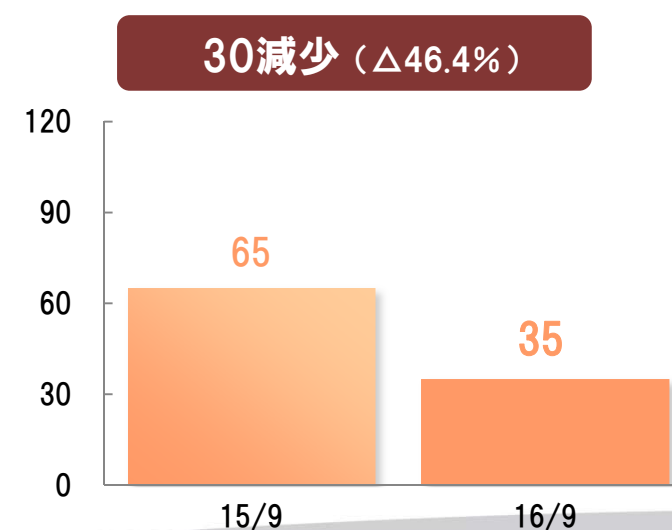
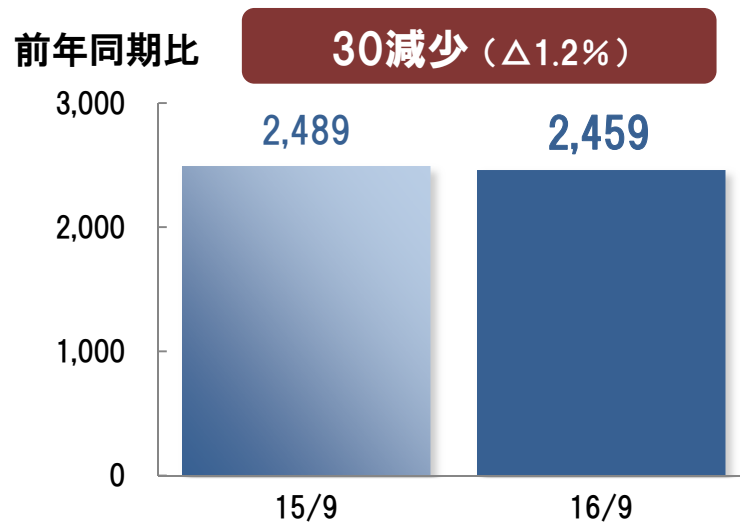
売上高



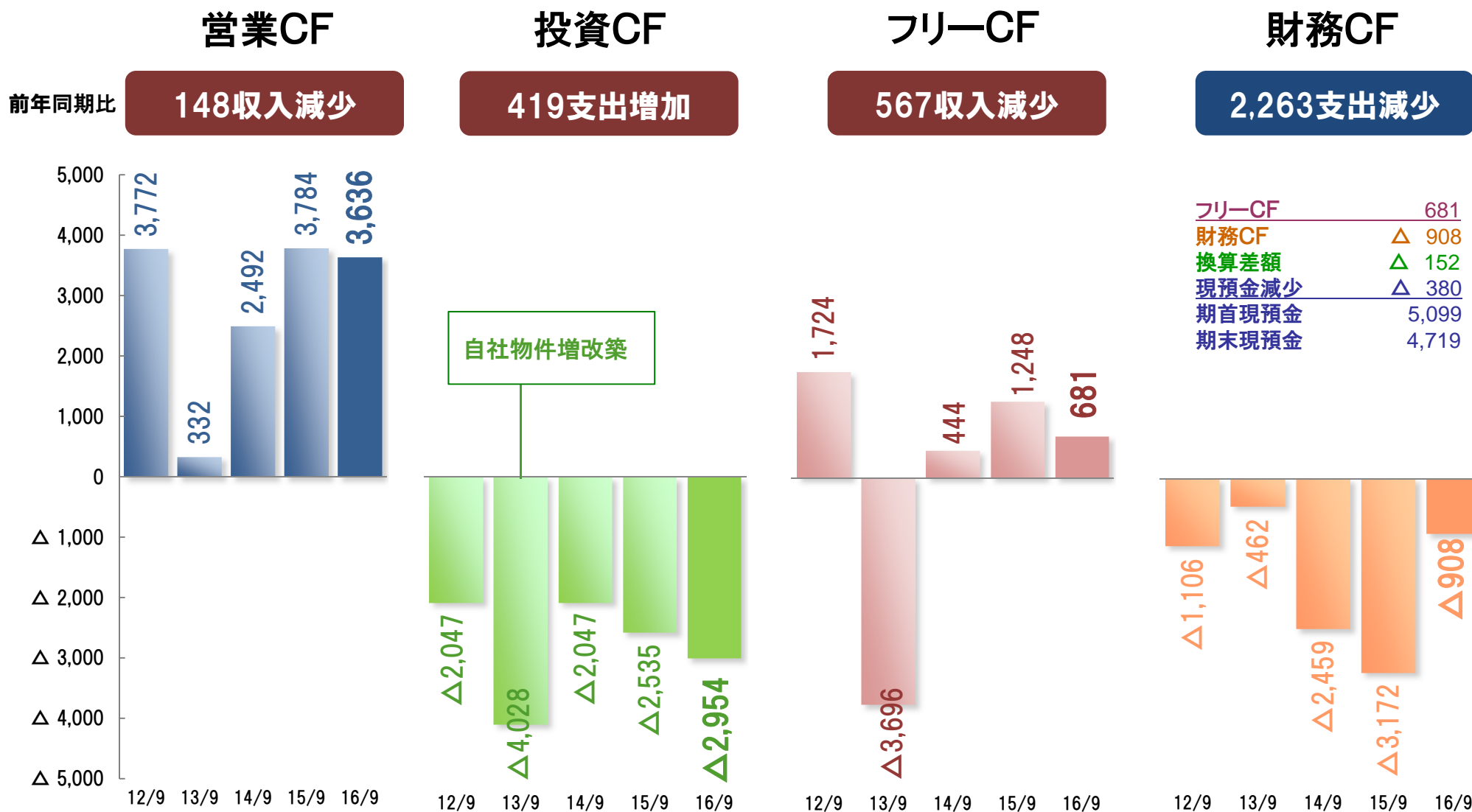
営業利益



その他



1-6) キャッシュ・フロー推移



2. 2017年3月期 通期業績予想

1) 通期業績予想
(5月9日公表値から変更なし)

2) 配当金

2-1) 通期業績予想

2017年3月期 通期業績予想について

現段階において概ね計画通りに推移していることから、2016年5月9日に公表した通期業績予想を据え置く

前期比<増収増益>

- GIS事業による収益確保
- 生産性改革による固定費率の低減
- 時空間情報システムの安定運用と商品開発

(金額単位:百万円)

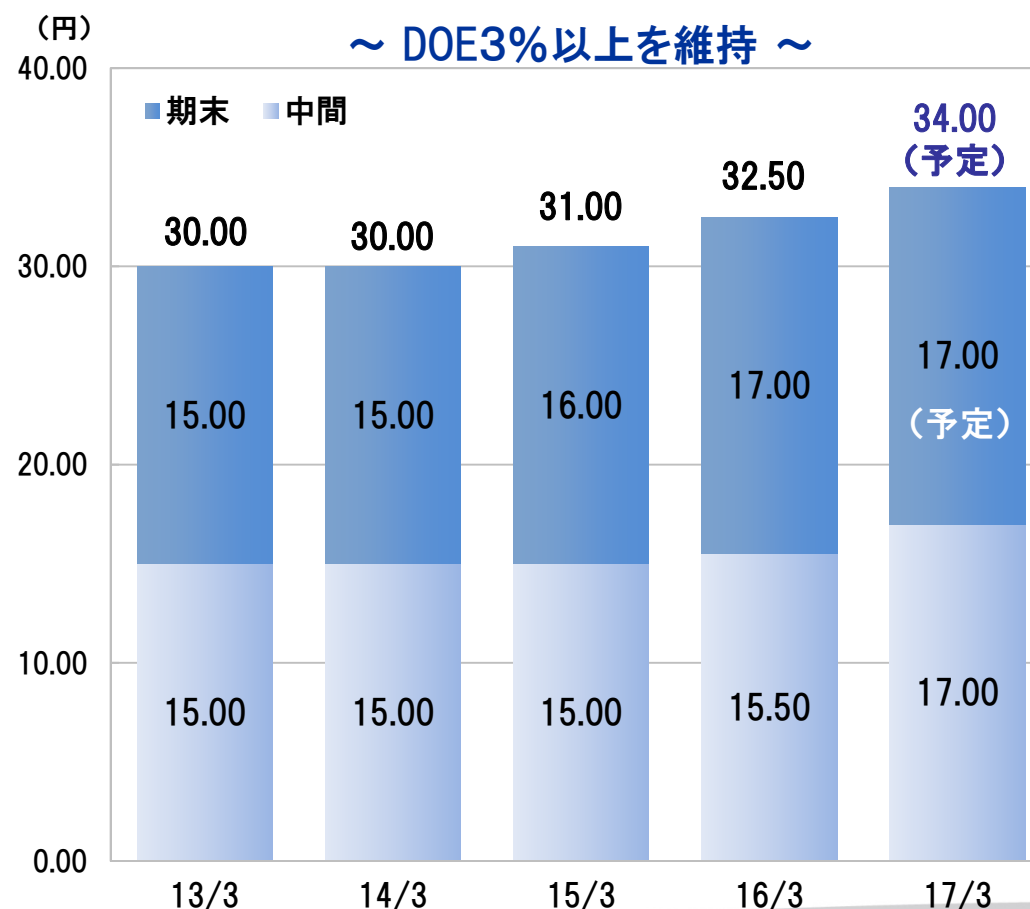
	2016年3月期 実績	2017年3月期 予想	前期比	
			前期比	増減率(%)
売上高	54,970	57,000	2,029	3.7
営業費用	51,931	53,600	1,668	3.2
営業利益 営業利益率	3,038 5.5%	3,400 6.0%	361 0.5pt	11.9 —
経常利益	3,427	3,700	272	7.9
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,610	2,200	589	36.6

2-2) 配当金

基本方針

適正な内部留保を考慮しつつ、中長期経営計画における利益成長に基づいた利益還元を実施
連結株主資本配当率(DOE)3%以上を目標

2017年3月期配当金（前期比）	
中間	17円00銭（+1円50銭）
期末（予定）	17円00銭（± 0円）
年間（予定）	34円00銭（+1円50銭）



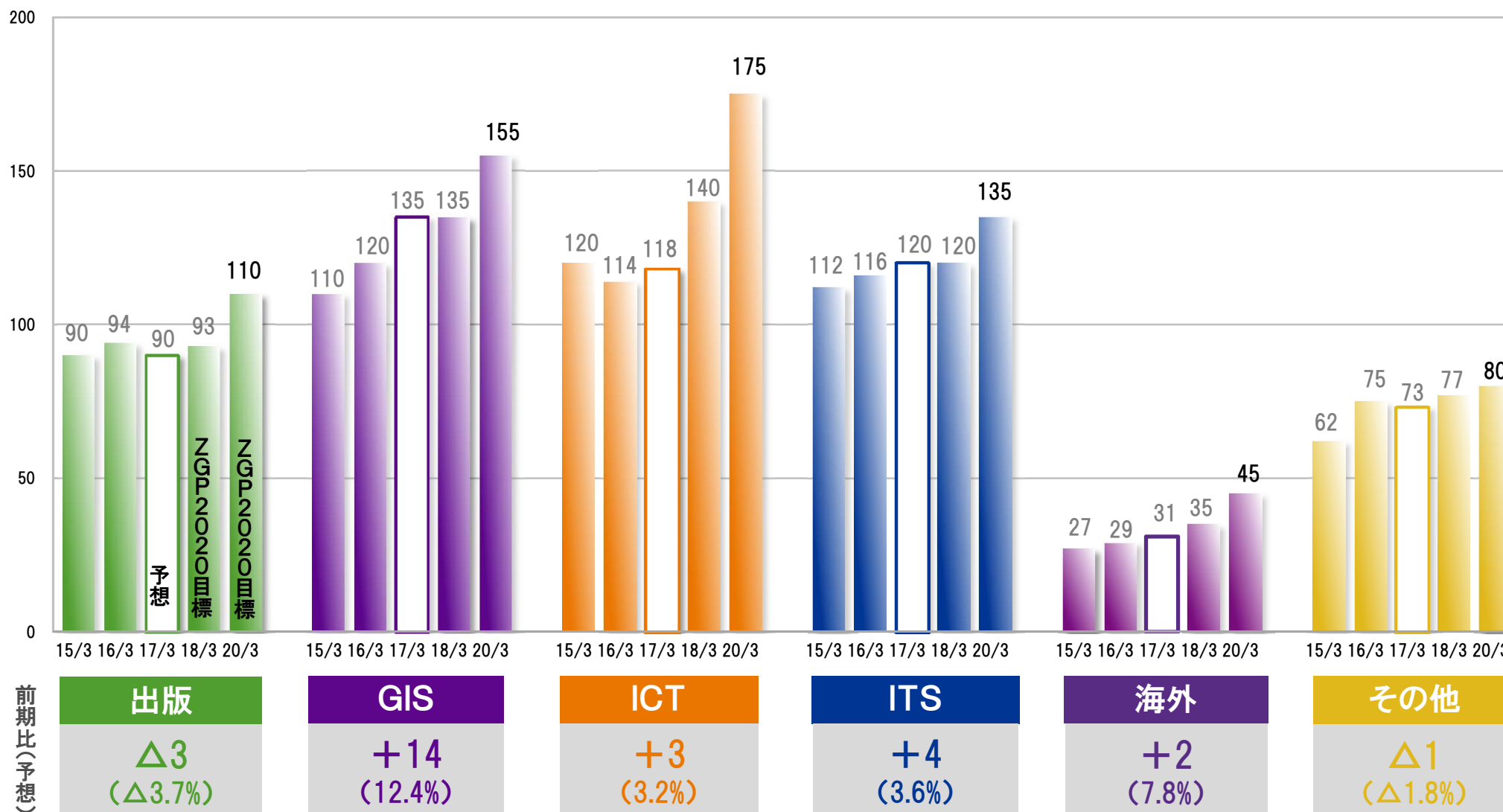
3. 事業概況

1) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高

2) ZGP2020事業戦略

- 事業別売上高(実績/予想/ZGP2020目標)
- 重点施策

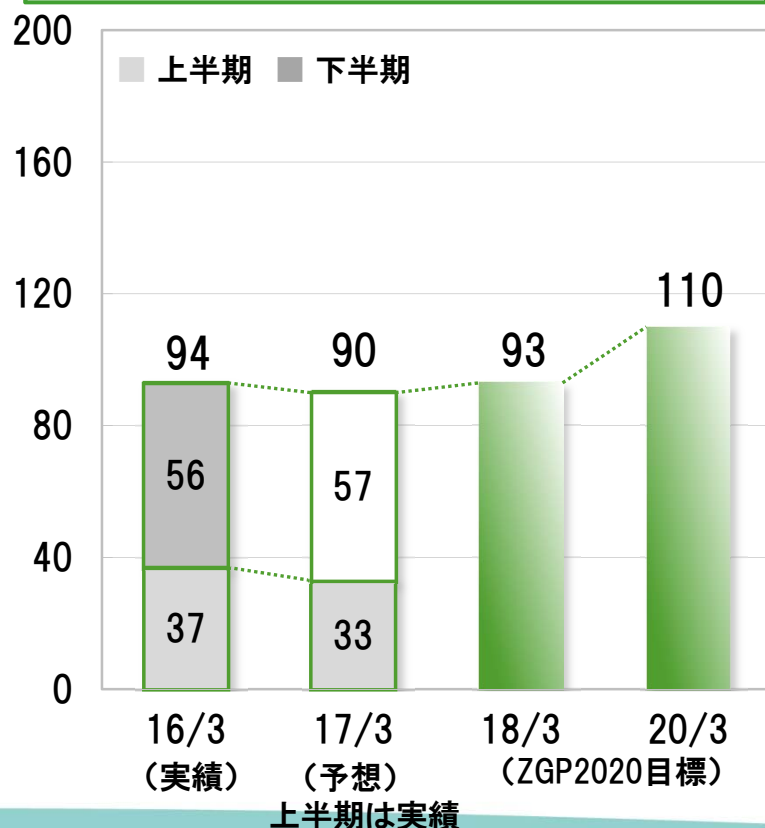
3-1)中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高



3-2) ZGP2020事業戦略 — 出版事業 —

2017年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 3$ 億円($\Delta 3.7\%$)

＜第2四半期進捗＞
前Q2期間の自治体受託案件の影響、
住宅地図帳の減少により減収



プリントメディアの「コト」を追求

単発的購入モデルから継続的利用モデルへ変革

複数地区でのFSの結果、ビジネスモデルは再考
営業スタイルの検証は継続

手軽に利用できるオンデマンドサービスの拡充

★ 全国のコンビニに続き、自社サイトでも提供開始

受託型商品から進化した企画型商品の拡充

★ 地図を新たなコンセプトで捉えて市場創造

・地図ステーションリー
「mati mati」シリーズ
10エリア/4アイテムで展開

札幌/仙台/丸の内/表参道/吉祥寺/
横浜/京都/梅田/神戸/福岡 天神

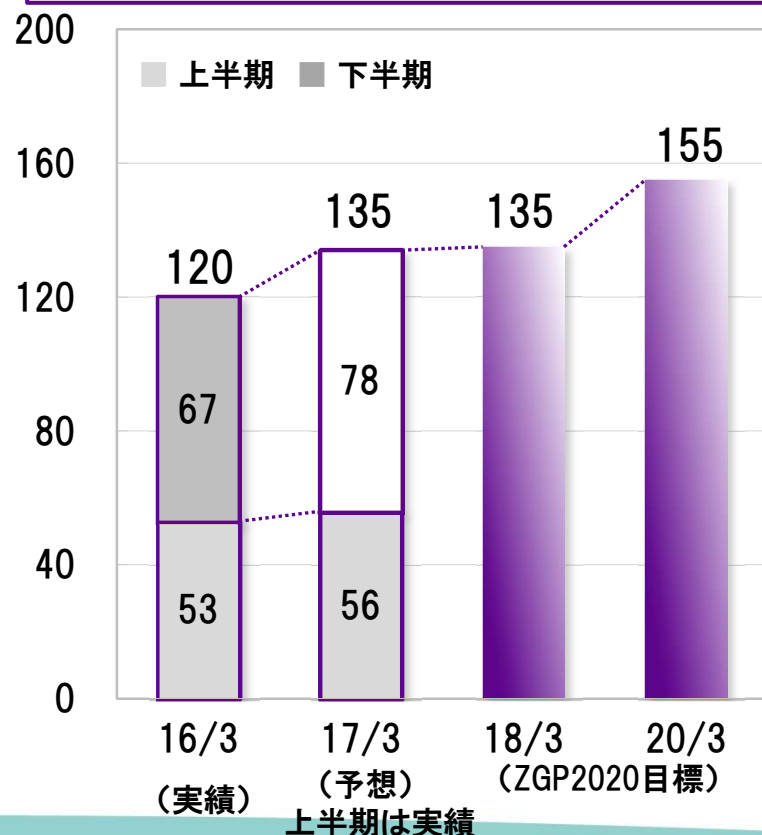
クリアファイル/マスキングテープ/
ノートパッド/ふせん

・東京オリンピック・パラリンピック競技大会のマークや
会場名・競技名を使用して販売するライセンス契約締結
各種地図として展開予定

3-2) ZGP2020事業戦略 –GIS事業–

2017年3月期 売上高予想
前期比 +14億円(+12.4%)

＜第2四半期進捗＞
GISパッケージ契約数増加と
GISマーケティング新規子会社寄与



コンセプト商品の拡充

★ 用途開発された商品と新価格の投入でゼンリンGISブランドを構築

新商品(GISセレクション)の開発/検証

地図に主題を付与したコンセプトが明確なパッケージ商品の投入

★ GIS利用の裾野拡大に向けたエントリーモデルの投入

小規模事業者向け営業支援システムの企画/開発

自治体プラットフォームの確立

情報還流型ビジネスモデルの確立

提携先3社とビジネスモデル企画/検証

3-2) ZGP2020事業戦略 –GIS事業– (GISブランド構築)

※数値は2017年3月期
売上規模(前期比)

官公庁/自治体

大手企業

中小企業

営業

マーケティング

オペレーション

(新規)自治体向け

(新規)情報還流型ビジネス

ソリューション

115億円(+7)

専用システム向け住宅地図データ提供

- ・消防・警察(緊急指令システム等)
- ・金融(担保評価、顧客管理等)
- ・宅配(配送、動態管理等) 他

住宅地図データとその他情報を活用

- ・不動産仲介業(物件管理、売買)
- ・自治体、不動産仲介業(空家、空地)
- ・インフラ(施設管理)
- ・企業向け(施設管理、営業支援、マーケティング等)

(新規)
用途開発による
サービス提供

(進捗) ★
不動産業者向け
セレクション商品
開発/検証

セレクション

5億円(+3) ★
GISマーケティング

アップセル

パッケージ

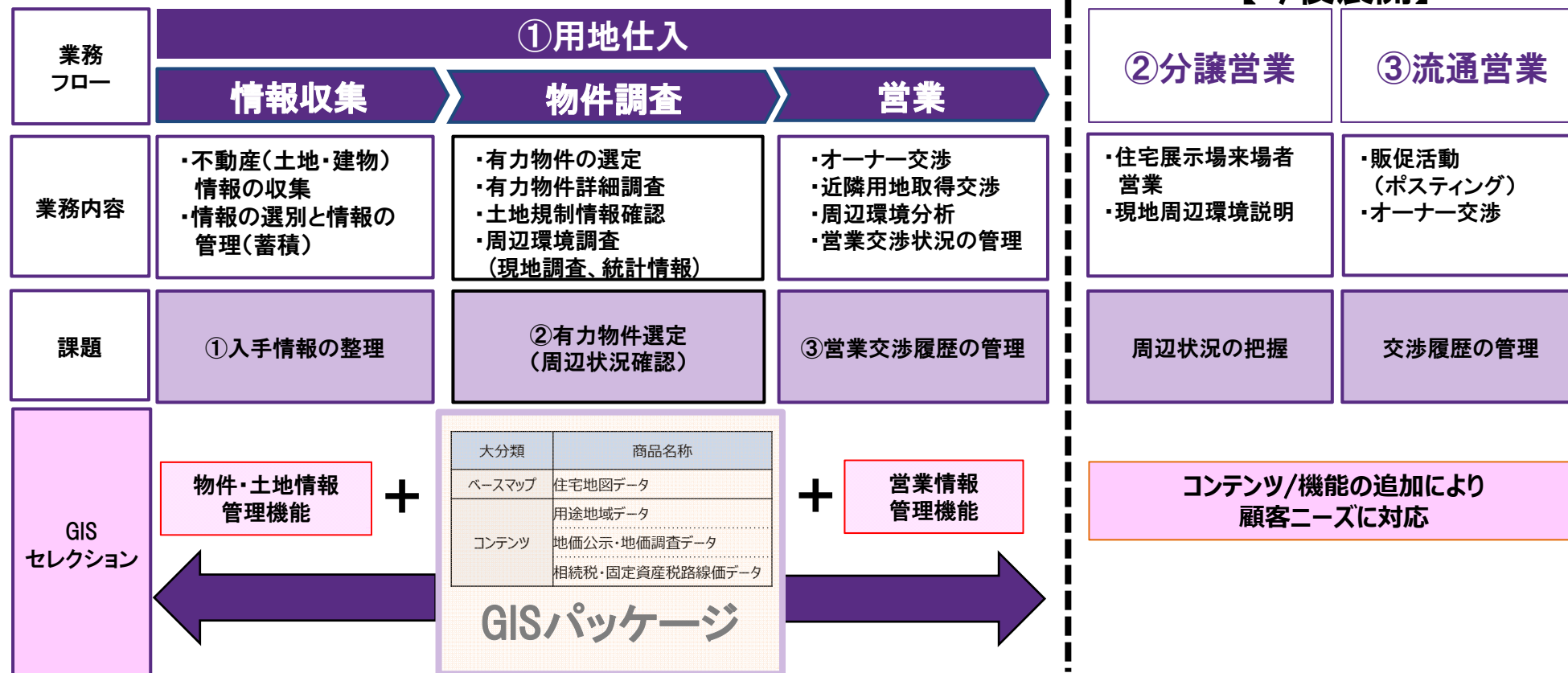
(進捗) ★
小規模事業者向け
営業支援システム
企画/検討

15億円(+4)
GISパッケージ(4タイトル)
不動産、建設、不動産鑑定士、税理士

3-2) ZGP2020事業戦略 –GIS事業– (GISセレクション)

不動産業者向けGISセレクション商品開発/検証

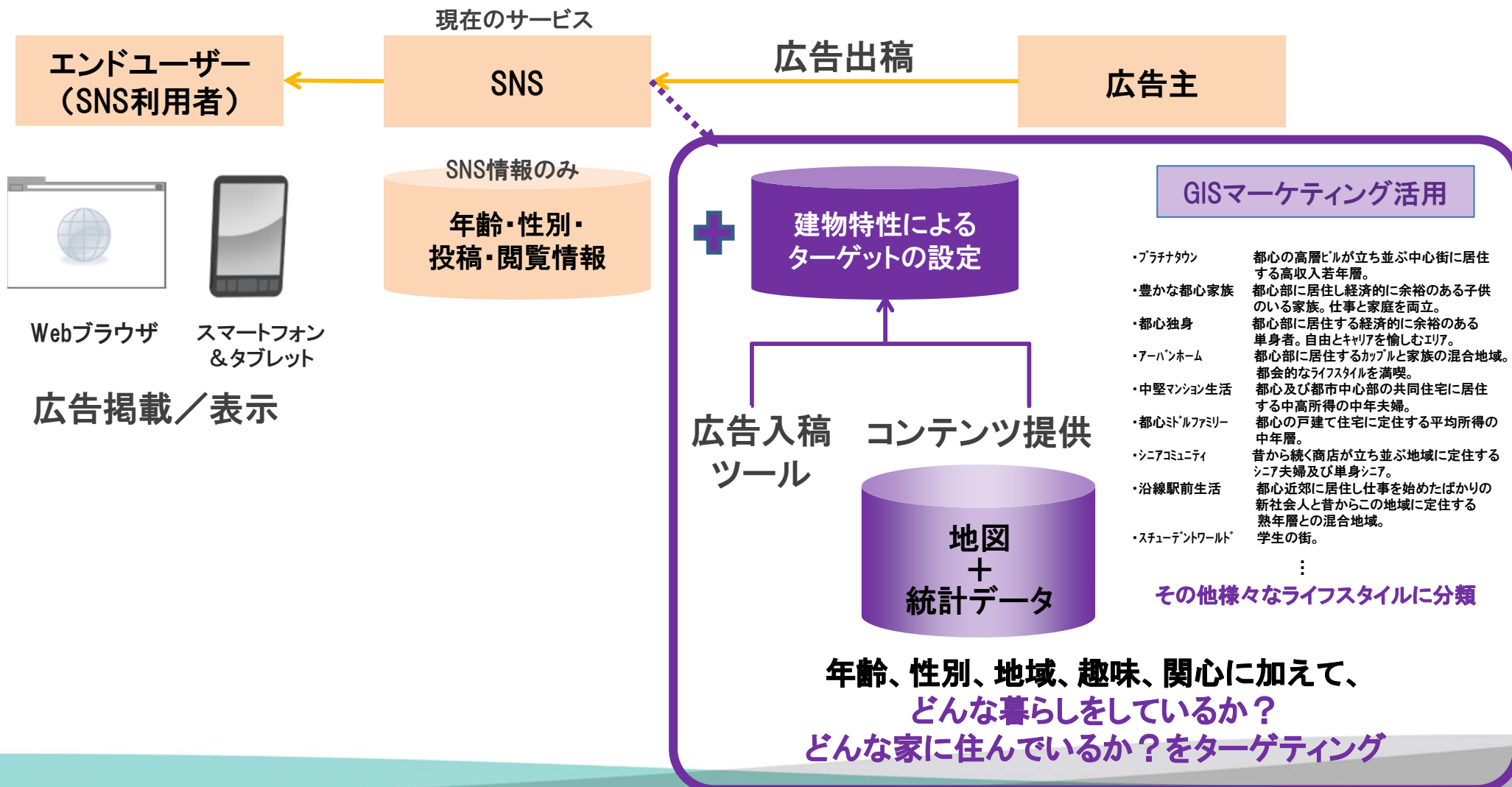
【今後展開】



(物件/土地情報管理機能と営業情報管理機能が追加+1万円/月)

1ライセンス 2万円/月

SNSを活用した広告ターゲティングビジネス

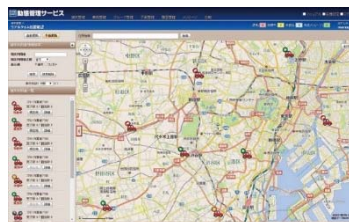


小規模事業者向け営業支援システム(クラウド型サービス)の企画/検討

位置情報
管理

動態管理

- 地図上に可視化
- リアルタイム



移動支援

いつもNAVIマルチ

- 車・電車・徒歩ナビ
- ドア to ドア案内



確実な
案内

ゼンリン住宅地図

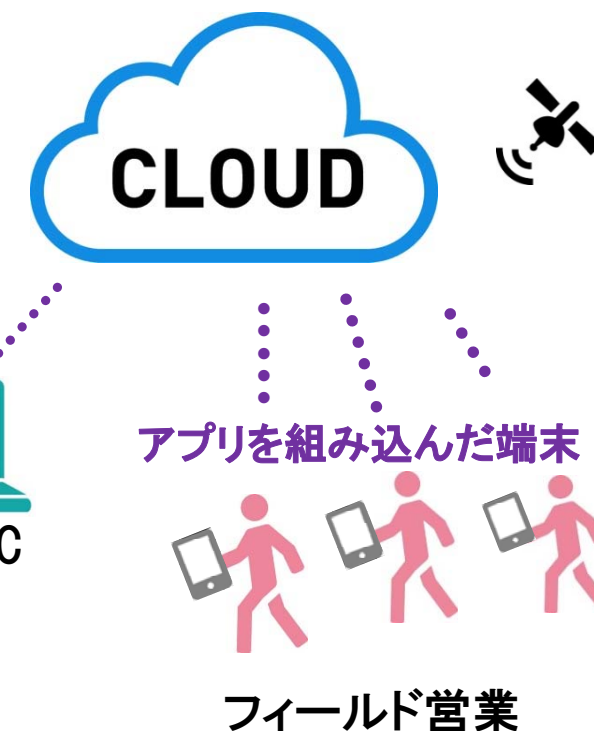
- 最終地点案内
(ラストワンマイル)



営業
サポート
機能

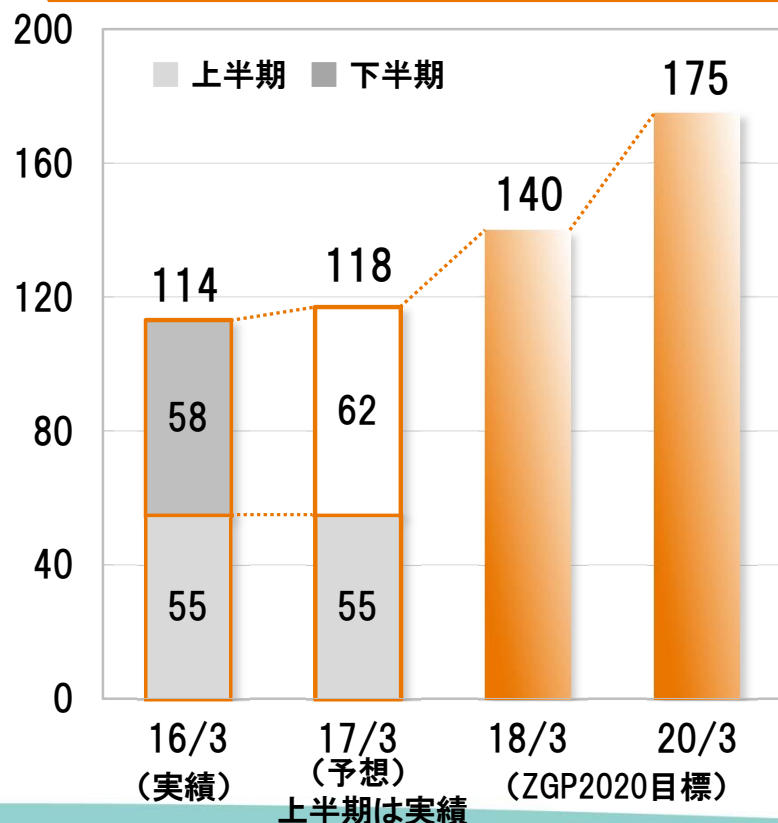
顧客情報/業務管理

- 訪問先確認
- 進捗・報告



2017年3月期 売上高予想
前期比 +3億円(+3.2%)

＜第2四半期進捗＞
スマートフォン向けサービス会員数減少
Webサービスの地図データ採用で増加



ITメディアの「コト」を追求

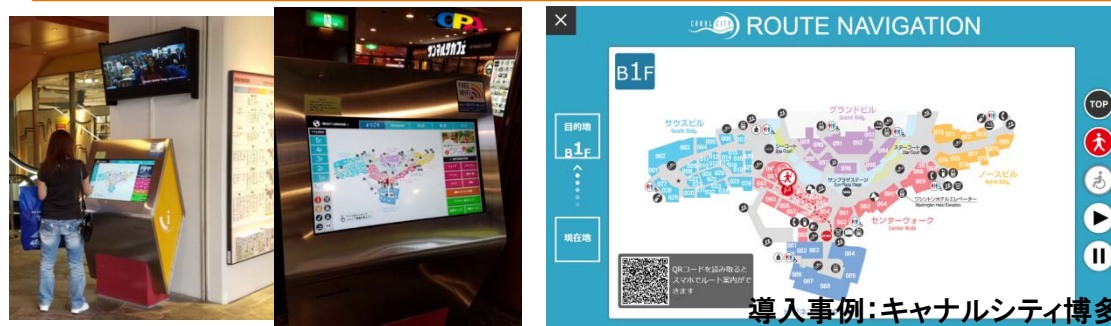
時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

★ Webビジネスにおける広告シェアモデルの立ち上げ

- ・ドローン事業におけるビジネスモデル確立(国、企業と連携強化)
- ・実証実験プロジェクトの受託

★ 時空間地図DBの提供によるデジタルサイネージ市場の獲得

- ・商業施設、交通、宿泊施設でのサイネージ採用
- ・多言語地図データ、観光コンテンツ、屋内データ採用

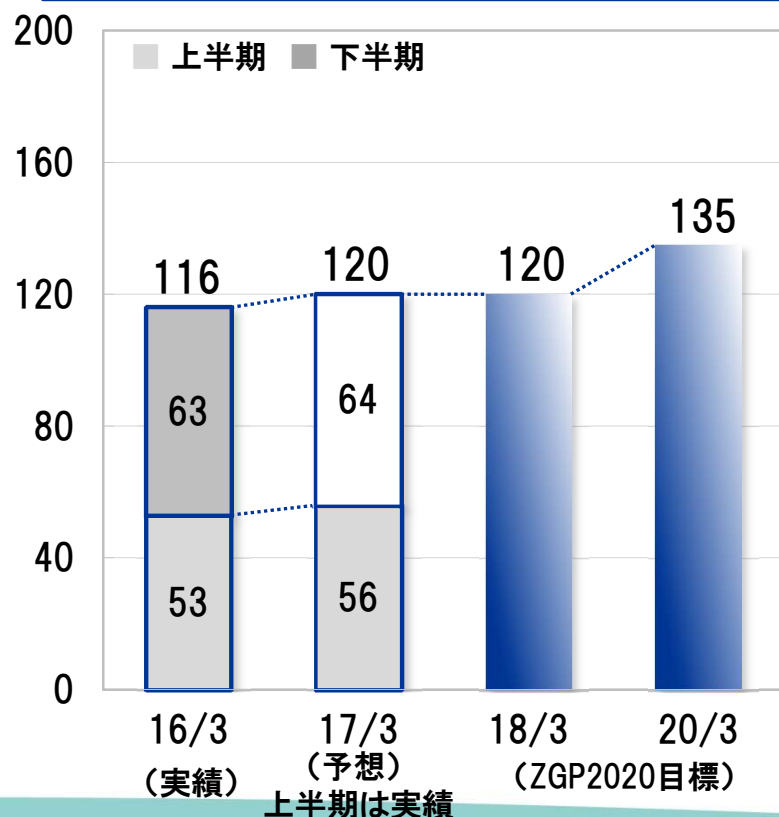


成長が見込まれる「観光分野」における位置情報ビジネスの拡大

3Dデータの活用領域拡大による3Dソリューションの立ち上げ

2017年3月期 売上高予想
前期比 +4億円(+3.6%)

＜第2四半期進捗＞
「つながるナビ」の新規採用、
エントリーモデル採用により増加



「つながるナビ」と「高精度地図」

時空間コンテンツ提供による地図DB利用価値の向上

地図DBとアプリケーションを組合わせたトータルサービスの提案

3D地図ライセンスとオーサリング案件で海外メーカー獲得



高精度地図の技術確立と商品企画推進

- ・自社の地図ソリューション(ZGM Auto)提案
- ・IoTと連携検討
- ・新会社ダイナミックマップ基盤企画会社設立出資
⇒2016/10/10-10/14 ITS世界会議メルボルン2016出展

3-2) ZGP2020事業戦略 —ITS事業— (ADASへの取り組み)

ZENRIN
ZENRIN supports the Automated Driving society with its mapping technologies

ZGM Auto
Innovations for future geospatial platforms
Zenrin's Geospatial data Model for AD/ADAS

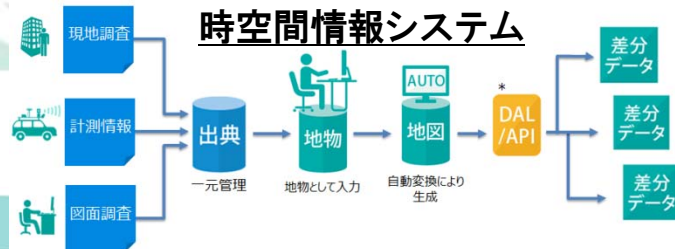
ZENRIN x IoT
Generating Dynamic Info with real-time probe data
Used as a source information for map update
Supported by IBM Japan

ZENRIN Integrated Geospatial System
Changes of map data are collected by car measurement and the processed data is delivered to the system, and it is managed in real time.
1. Data 2. Map plan and its export 3. ZGM Data 4. Delivery Solutions

Dynamic Map Planning Co., Ltd. (DMP)
Initiative in Japan to standardize map solutions for AD/ADAS

IoT連携検討
プローブ活用による
動的情報生成
地図変化点トリガー収集

地図ソリューション検討
2020年に向けて
全国高速道路及び
接続する一般道
28,000kmを対象



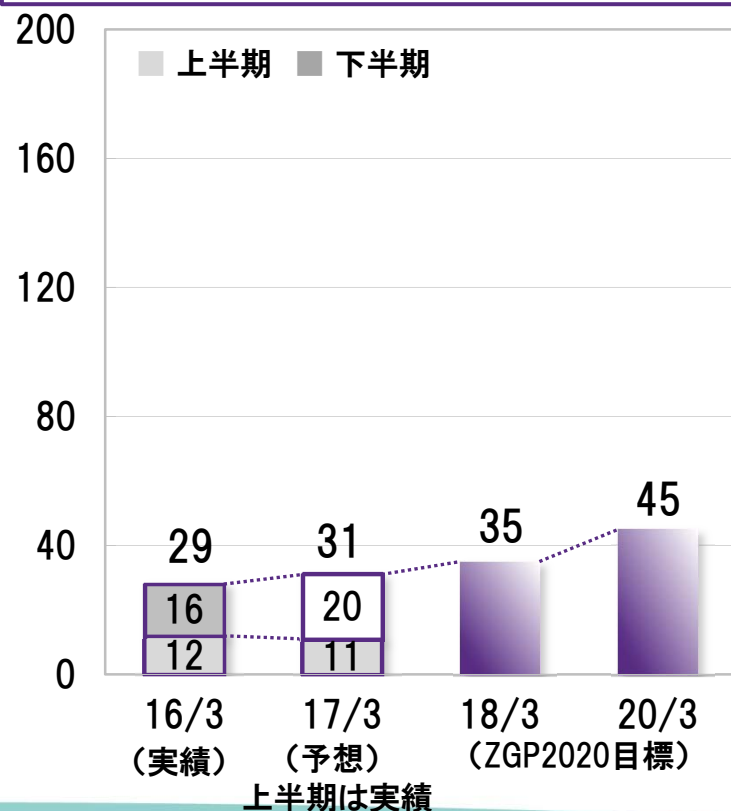
2016年6月設立
ダイナミックマップ基盤企画株式会社

出典:ITS世界会議メルボルン2016 JAPAN PAVILIONブース展示より抜粋

2017年3月期 売上高予想
前期比 +2億円(+7.8%)

<第2四半期進捗>

カーナビモデル切替(北米)により減収



新興国エリアのビジネス基盤構築



2016年9月 Abalta Technologies社(米)を子会社化

- スマートフォン上のアプリケーションと車載機を連携するソフトウェアの提供
- スマートフォンをゲートウェイとしてデータ通信するコネクティッドビークルを実現する環境を提供
- 新興国エリアで柔軟性あるソリューションを提供

インドビジネスの拡大

ASEANビジネスの立ち上げ

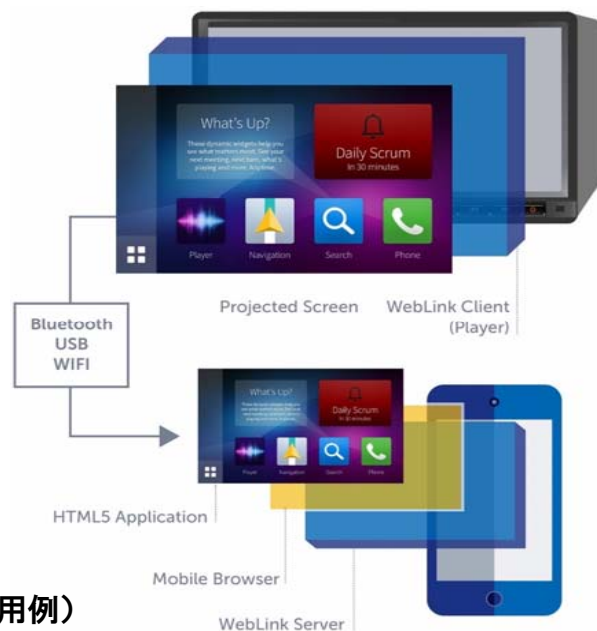
ナビアプリのグローバル展開とオーサリング案件の確保

海外高精度ビジネスの立ち上げに向けた事業可能性の検証開始

海外GISの立ち上げ

WebLink

スマートフォン上のアプリケーションを
車載端末に表示、車載機器での操作が可能



(活用例)

- ・スマートフォンコンテンツと統合
- ・カーメーカーごとにカスタマイズ可能
- ・カーメーカーの独自ブランドで提供可能、車両情報の外部流出防止

SmartLink

スマートフォンをゲートウェイとしてデータ通信を行う
コネクティッドビークルを実現するための環境を提供

- ・車をネットワークへ接続することが可能
- ・クラウドから車へのデータ更新や車両診断情報を利用したビッグデータの管理が可能



(活用例)

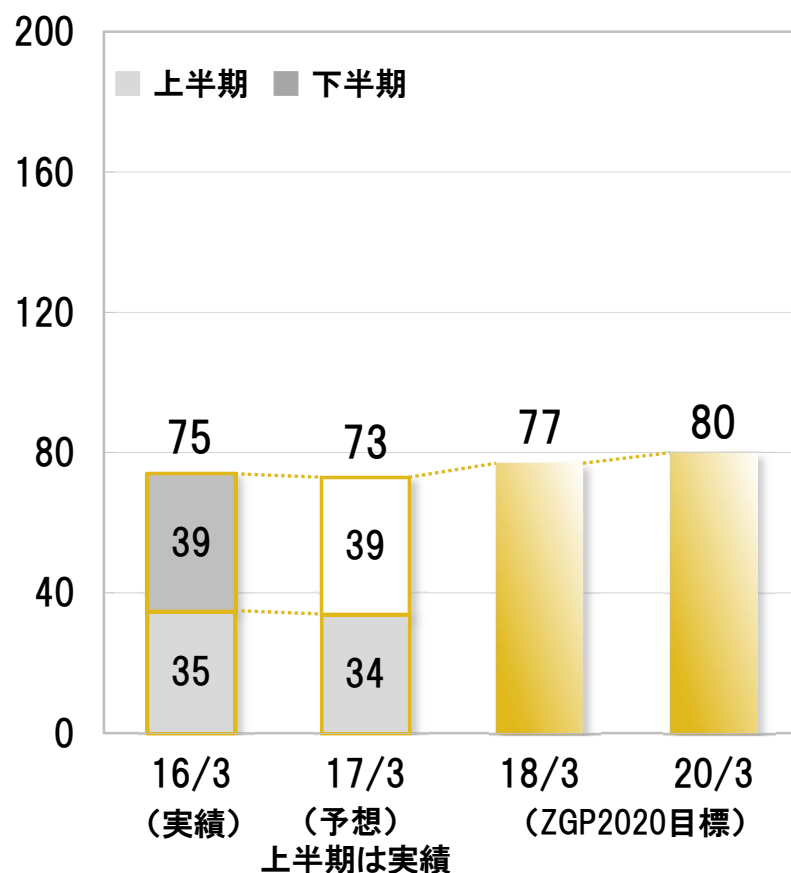
- ・組み込みソフトウェアの通信による更新
- ・地図データの通信による更新
- ・車両診断データのダウンロード
- ・エン터테인먼트

車載ソフトウェアを組み合わせたソリューション提供により
新興国エリアの事業を強化

3-2) ZGP2020事業戦略 —その他事業— (一般印刷・インシッパ等広告)

2017年3月期 売上高予想
前期比 $\Delta 1$ 億円($\Delta 1.8\%$)

グループシナジー再検証



一般印刷ビジネスの安定

インシッパ広告ビジネスの拡大

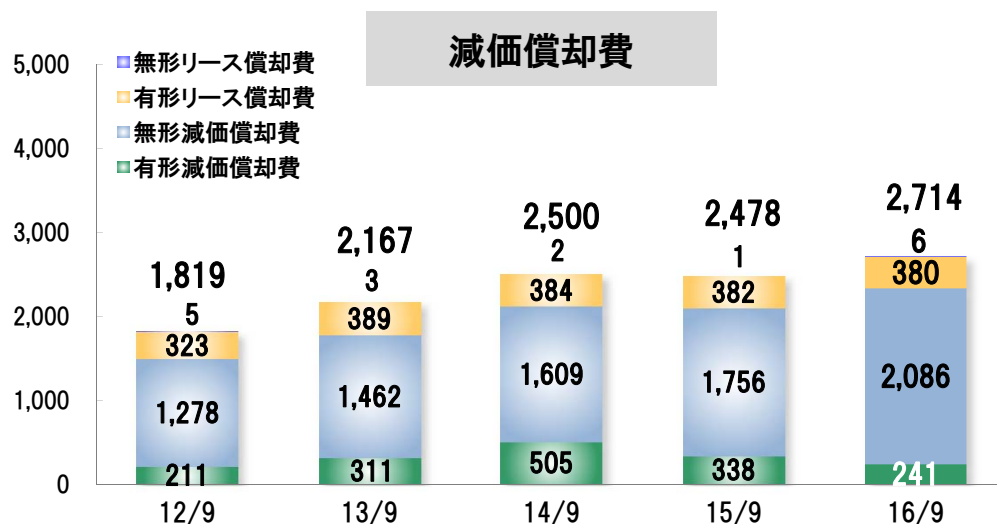
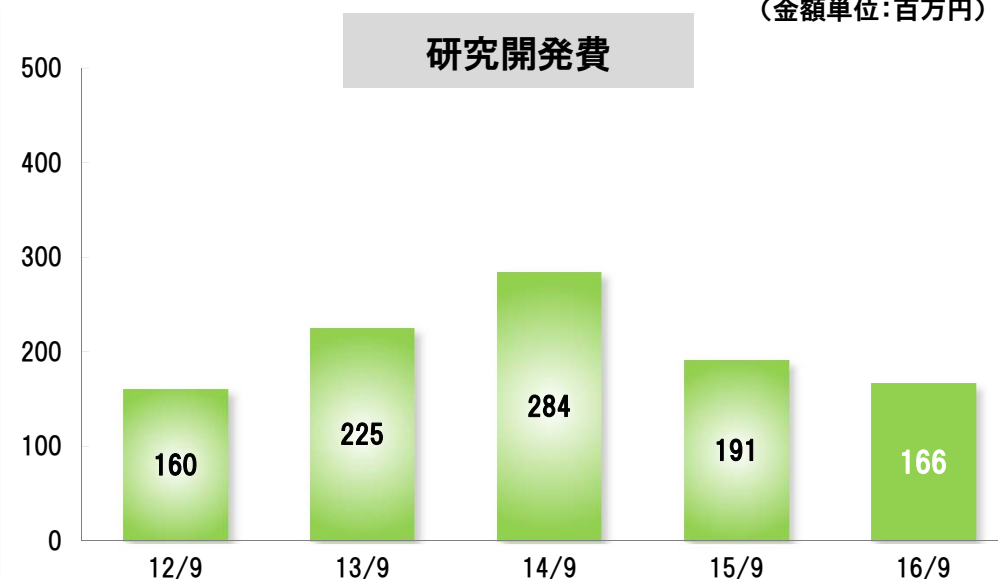
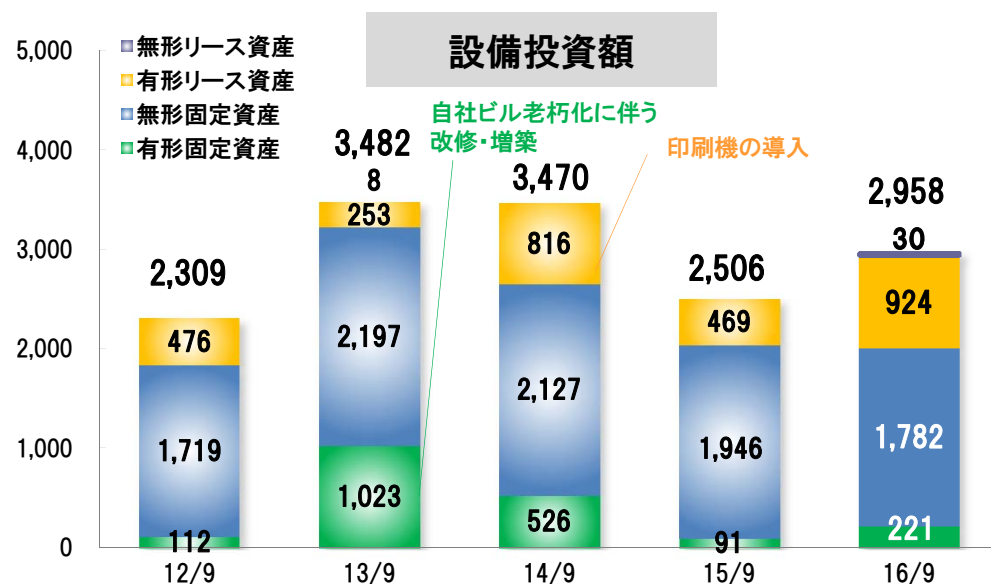
位置情報ビジネスとのシナジーによる売上拡大

4. Appendix

- 1) 2017年3月期 第2四半期決算概要
設備投資額、減価償却費、研究開発費
四半期売上高構成比 推移
- 2) 2017年3月期 通期業績予想(2016年3月期 決算説明会資料より)
売上高・利益の推移
セグメント情報
設備投資額、減価償却費、研究開発費
- 3) 中長期経営計画(ZGP2020)(2015年5月8日発表より)
目標数値
事業別売上高
- 4) 事業トピック

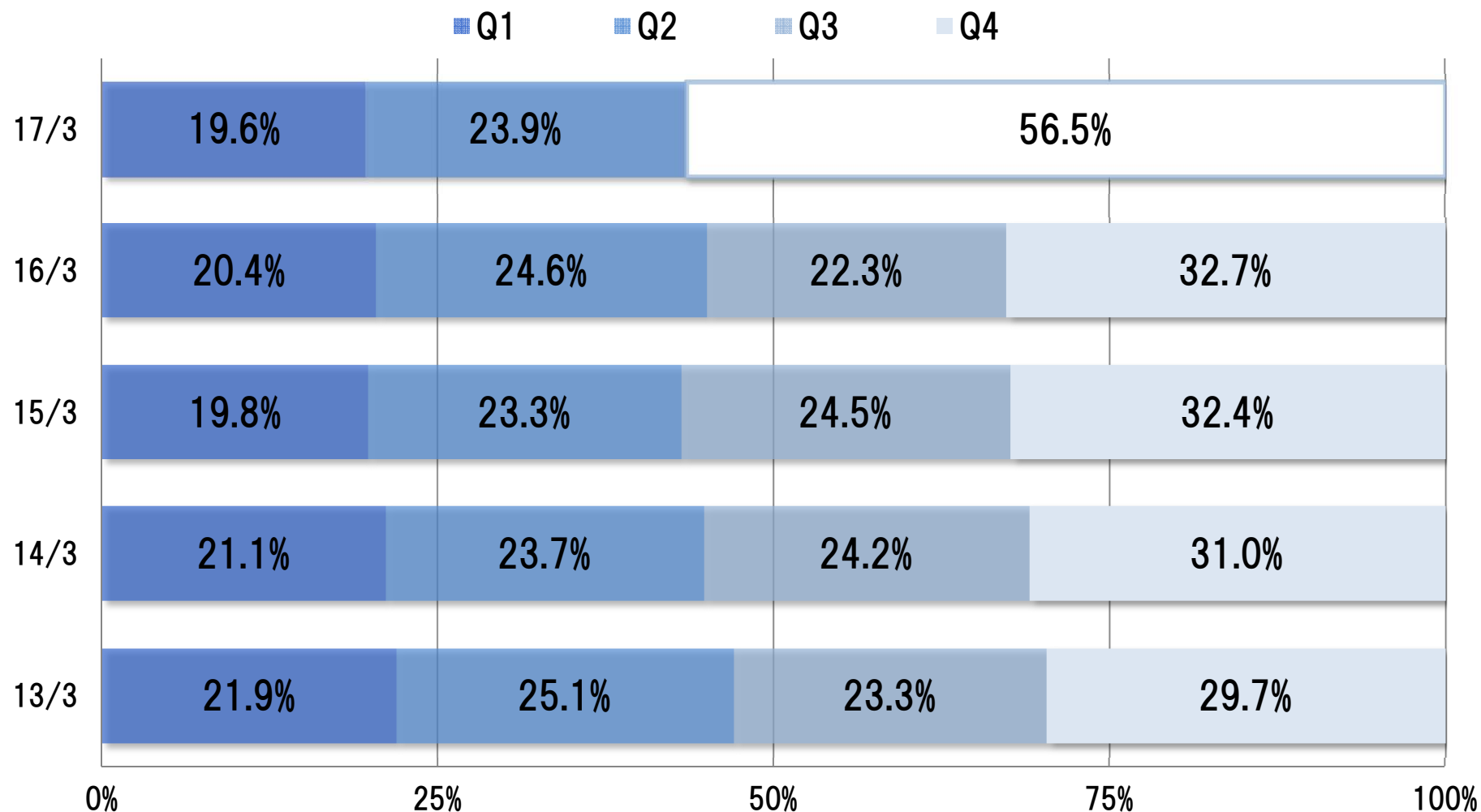
4-1) 第2四半期決算概要(設備投資額、減価償却費、研究開発費)

(金額単位:百万円)

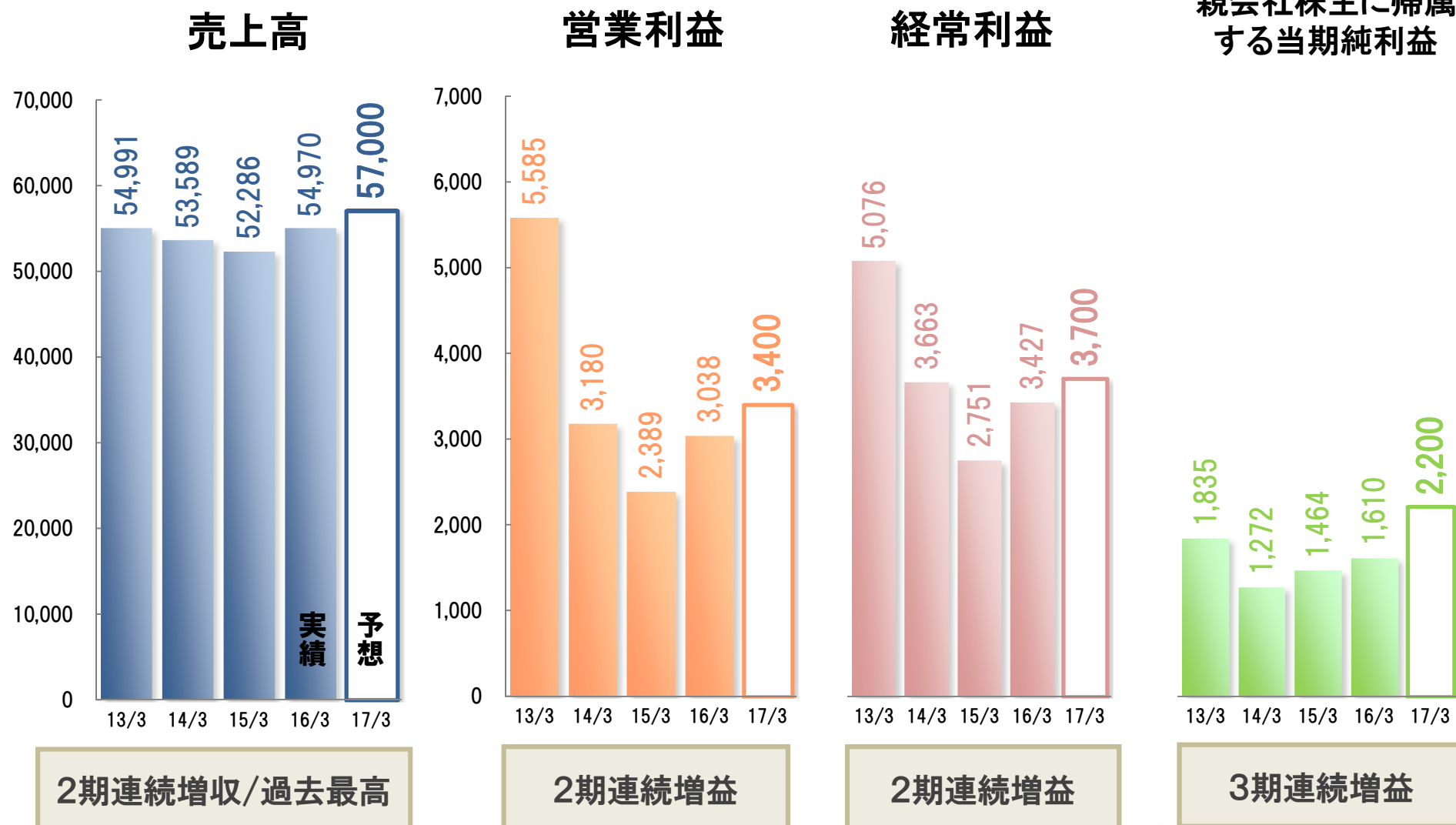


4-1) 第2四半期決算概要(四半期売上高構成比 推移)

2017年3月期 第2四半期決算説明会



4-2) 通期業績予想(売上高・利益の推移)



4-2) 通期業績予想(セグメント情報)

売上構成
比率

84.3%

1. 地図データベース関連事業

主要品目等：住宅地図帳、住宅地図データベース
国内外カーナビ用地図データ
スマートフォン向けサービス
各種メディア・デバイスへの地図情報提供等



2. 一般印刷関連事業

主要品目等：商業印刷



3. その他

主要品目等：仕入商品、デジタルサイネージ
ダイレクトメール発送代行、インシップ広告

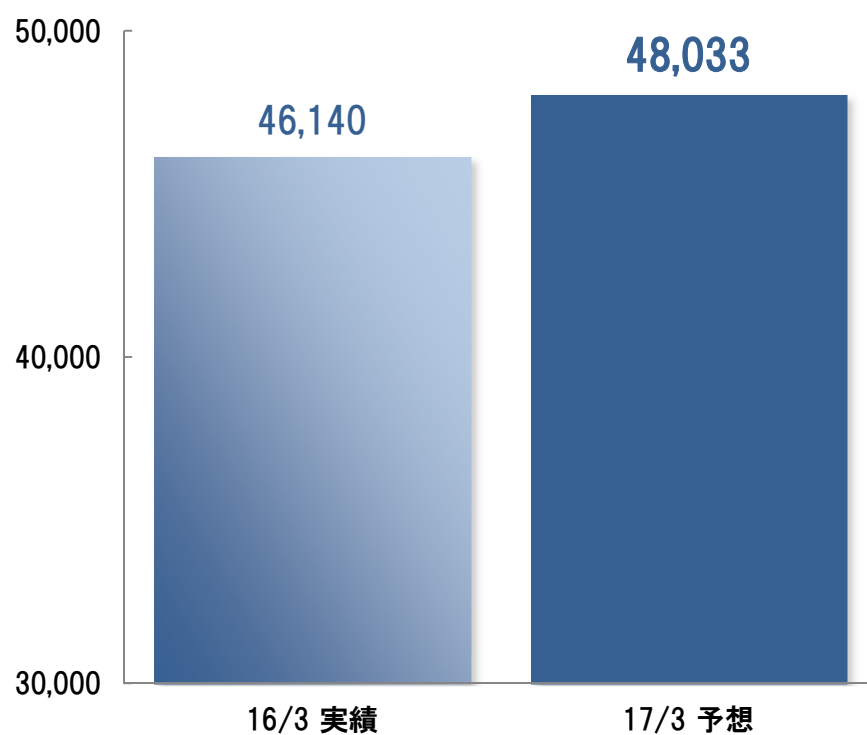


4-2) 通期業績予想(セグメント情報)

売上高

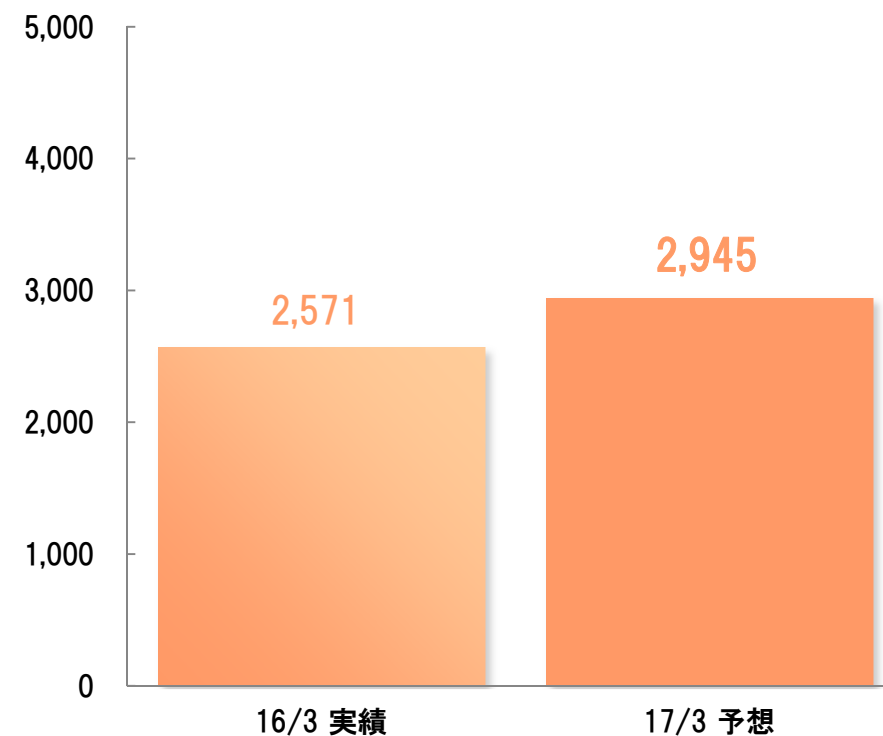
前期比

1,892増加 (4.1%)



営業利益

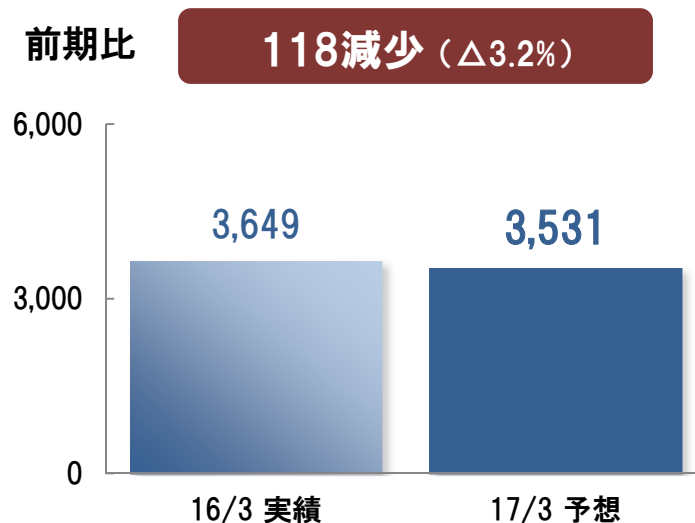
373増加 (14.5%)



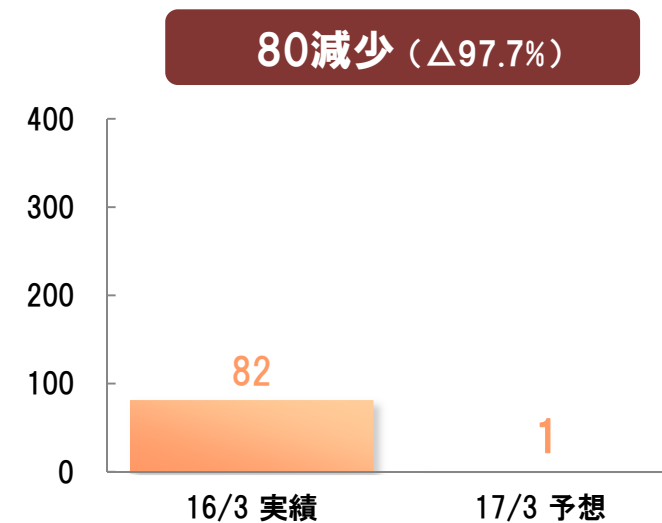
4-2) 通期業績予想(セグメント情報)

一般印刷関連事業

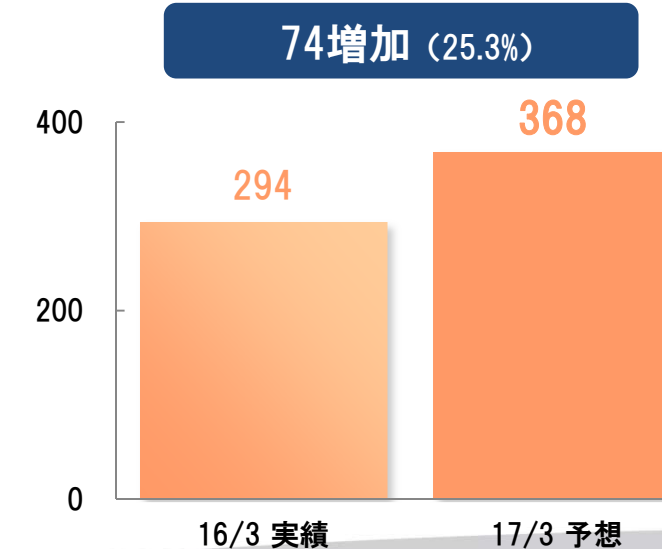
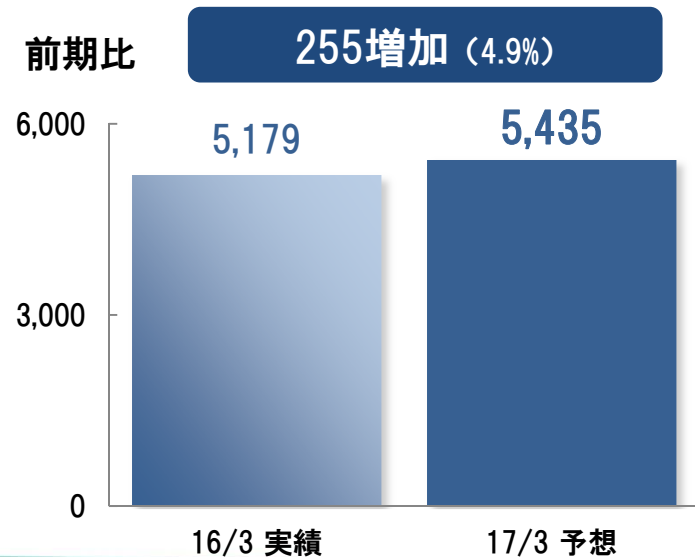
売上高



営業利益

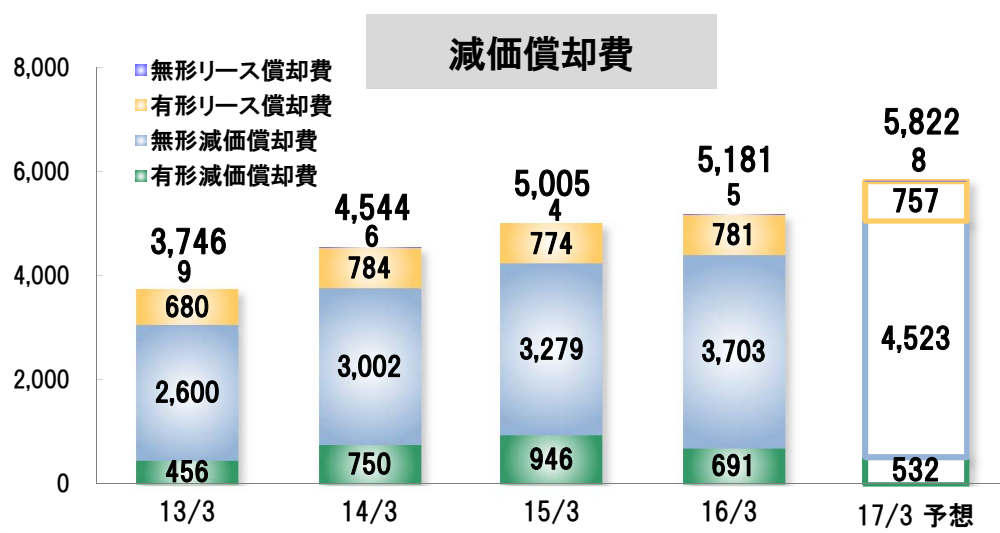
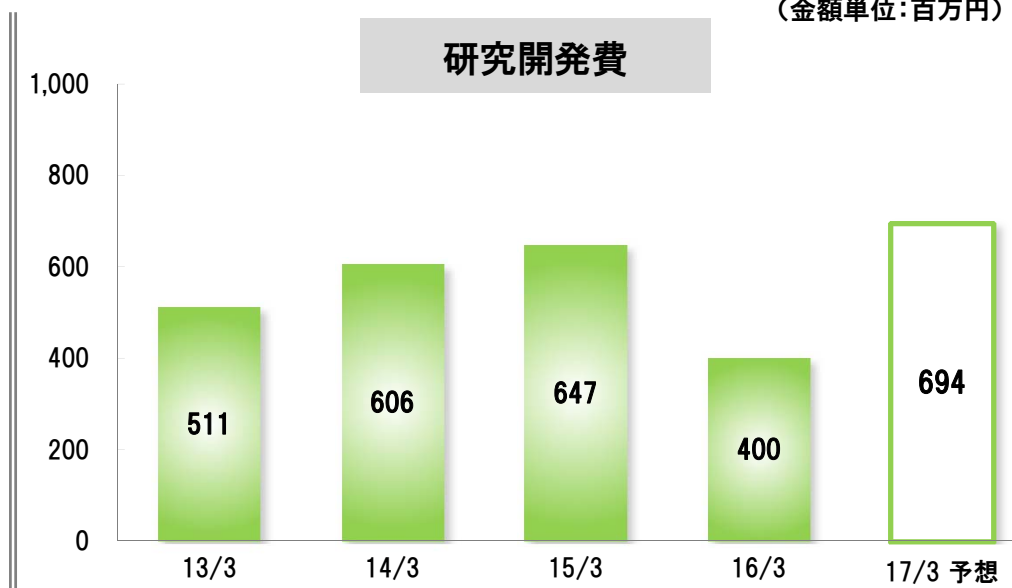
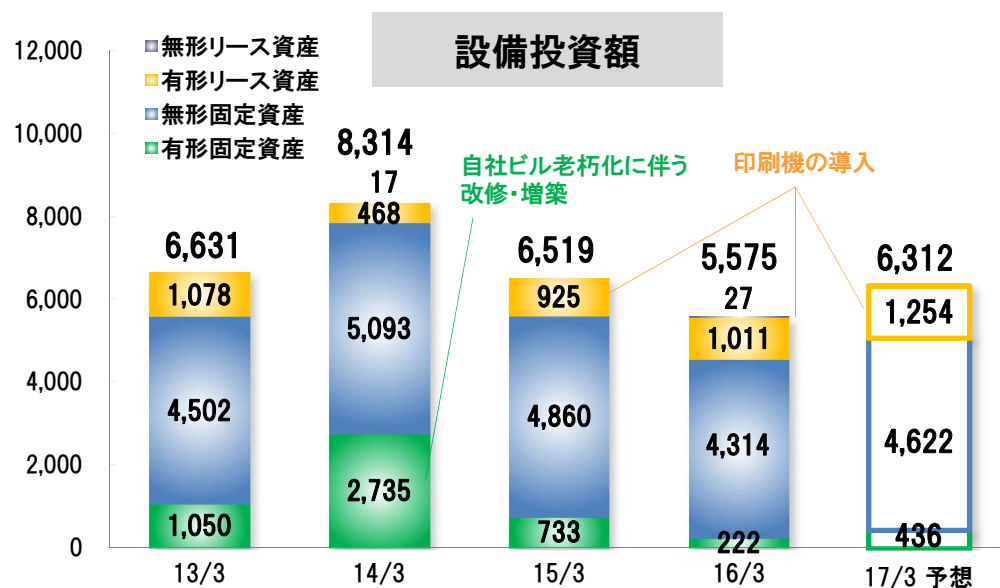


その他



4-2)通期業績予想(設備投資額・減価償却費・研究開発費)

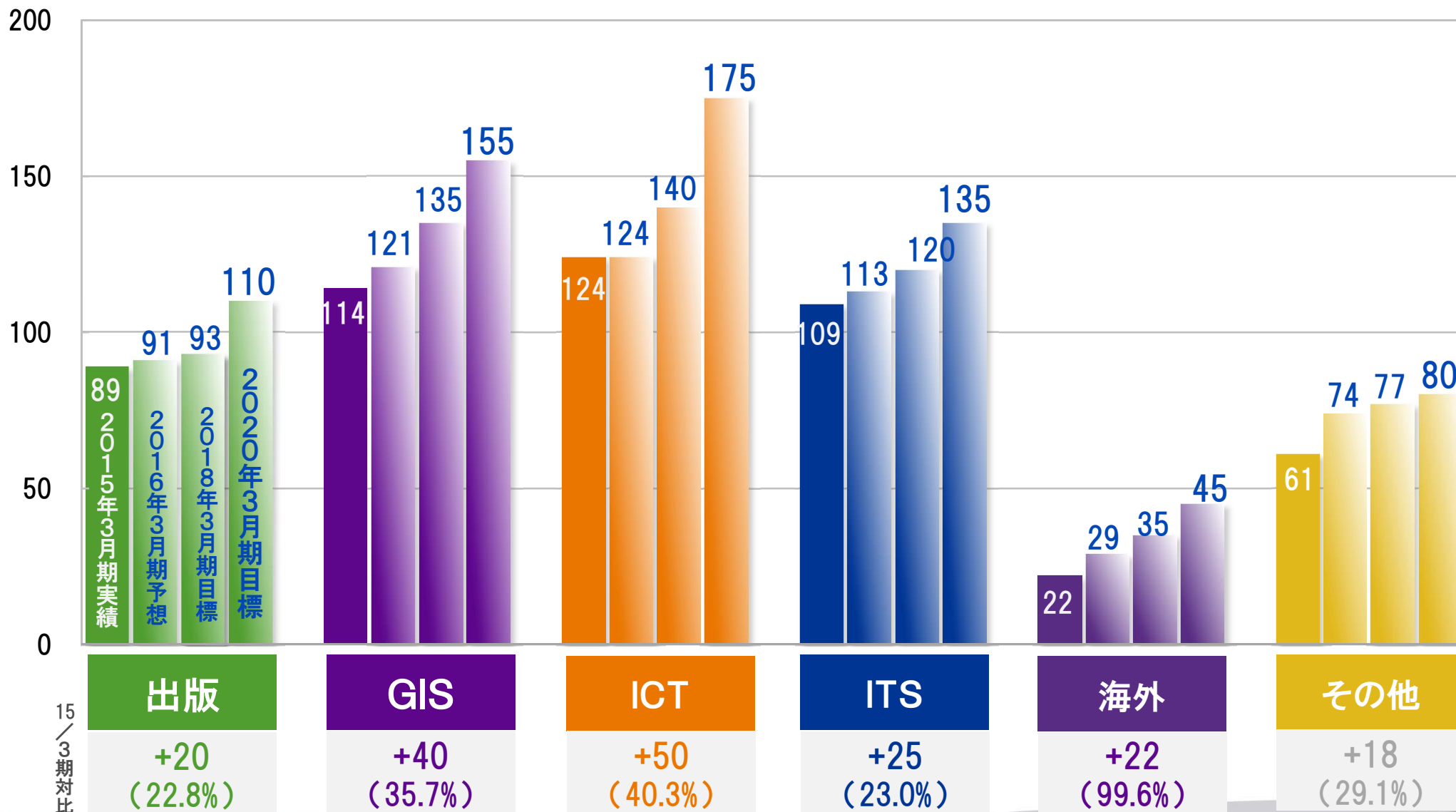
(金額単位:百万円)



4-3) 中長期経営計画(ZGP2020)目標数値 (2015年5月8日発表より)

	2015年3月期 実績	2016年3月期 予想	2018年3月期 目標	2020年3月期 目標
連結売上高	522億円	555億円	600億円	700億円
連結営業利益 (利益率)	23億円 (4.6%)	25億円 (4.5%)	50億円 (8.3%)	100億円 (14.2%)
ROE (自己資本当期純利益率)	3.9%	4%	8%	12%以上
DOE (連結株主資本配当率)	3.0%	3%以上	3%以上	3%以上

4-3) 中長期経営計画(ZGP2020)で区分した事業別売上高 (2015年5月8日発表より)



※2015年3月期はZGP2015の事業区分で集計した売上高

4-4) 事業トピック

■地図ステーションナリー「mati mati(マチマチ)」に 新ラインナップが仲間入り (2016年7月20日、9月2日)

2016年1月から展開している、第一弾が好評につき
新アイテムと新柄エリア(6地区)を発売

◆商品アイテム (全4アイテム)

- ・TRAVEL TAG FUSEN (ふせん) :480円 《新登場》
- ・3LAYER mati FILE (クリアファイル) :380円
- ・MAP WRAP NOTEPAD (ノートパッド) :380円
- ・STREET MEMO TAPE (マスキングテープ) :430円

◆地図柄エリア (全10エリア)

京都、梅田、神戸、横浜、仙台、札幌 《新登場》
丸の内、表参道、吉祥寺、福岡天神

◆取扱店舗

- ・当社公式オンラインショップ「ZENRIN Store」
- ・ロフト(北海道、東北、首都圏、関西、九州を中心とした各店舗)
- ・オムニ7



■米国「Abalta Technologies社」株式を75%取得し 子会社化 (2016年9月12日)

◆Abalta Technologies社の概要

社名	Abalta Technologies, Inc.
設立	2003年
所在地(本社)	カリフォルニア州トーランス市
所在地 (開発拠点)	カリフォルニア州サンディエゴ市 ブルガリア国ソフィア市
代表者	Michael O'Shea
事業内容	<p>車載向けソフトウェア・ソリューション・位置情報ソフトウェアの ライセンス及び受託開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ WebLink、SmartLinkの提供 WebLink : スマートフォン上のアプリケーションを車載機器に 表示したり、スマートフォン上のアプリケーションを 車載機器から操作を可能にするためのソフトウェア SmartLink : スマートフォンをゲートウェイとしてデータ通信を行う コネクティッドビーグルを実現するために必要な環境 ・ 車載インフォ底面とシステムにおける各種車載ソフトウェア開発 キットや地図を使用した位置情報に関するソフトウェアの開発

◆子会社化目的

国内外で培ったカーナビゲーション向け地図データ整備や
コンテンツ整備のノウハウに加え、車載ソフトウェアを
組み合わせたソリューション提供により海外事業を中心とした
事業強化を目指す

<参考>

海外事業 : 連結売上高45億円(2020年3月期目標)

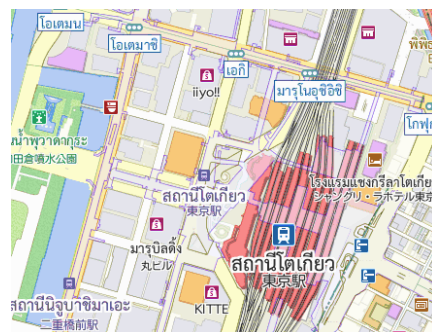
海外

4-4) 事業トピック

■「多言語地図」の対応語にタイ語を追加 (2016年9月13日)

当社連結子会社(株)ゼンリンデータコムが法人向け地図サービス「多言語地図」が5カ国6言語対応

- ◆日本語、英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)、タイ語
- ◆様々なサービスに対応可能
 - ・いつもNAVI API
 - ・店舗案内パッケージサービス
 - ・Area Cutter



(タイ語サンプル画像)

■「多言語地図Plus(プラス)」販売開始 (2016年9月14日)

当社連結子会社(株)Will Smartはデジタルサイネージをタブレット端末で利用可能な多言語地図サービス「多言語地図Plus(プラス)」の販売を開始

地図や施設情報、ルート案内などの情報を4ヶ国5言語でブラウザ上で表示できるWEBサービスに加え、オリジナルの施設登録ができるCMSとクラウドサーバーを一体化したパッケージ型サービス

- ◆日本語、英語、韓国語、中国語(簡体)、中国語(繁体)
※タイ語も追加予定



ICT

■「いつもNAVI」シリーズ バージョンアップ・機能追加

当社連結子会社(株)ゼンリンデータコムが展開する「いつもNAVI」シリーズがバージョンアップ・機能追加

- ◆法人・商用向け地図サービス「いつもNAVI API/CGI」 (2016年7月21日)
ジョルダン(株)が保有する「乗換え案内 Biz API」と「全国バス停データ」を活用した、複合ルート検索「ドアtoドア検索」と最寄バス停検索の提供開始
- ◆PCサイト「ゼンリンいつもNAVI[マルチ]」 (2016年9月16日)
シーン別の有料地図を3つ追加
用途・シチュエーションに応じてPCサイトの大画面でも確認可能に(観光地図、目印地図、雨雲レーダー)
- ◆「ゼンリンいつもNAVI[ドライブ]」 (2016年9月16日)
今回のバージョンアップで(株)デンソーが開発した遠隔操作でスマートフォンの利用をアシストするアプリケーション「Spin n' Click」とスマートフォンリモート・コマンダー「KKP(くるくるピ)」に対応



地図のスクロール
や拡大ができます



ICT

4-4) 事業トピック

■「第23回 ITS世界会議メルボルン 2016」に出展 (2016年10月10日～10月14日)

◆ダイナミックマップの具現化とADAS※1自動運転機能の実現に向けた地図ソリューションの取り組みを紹介

<出展内容>

①自動運转向け地図ソリューション「ZGM Auto」

「ZGM Auto」は自動運転機能の実現に向けて当社が取り組んでいる、3次元高精度空間データベース、道路ネットワークデータから構成される、高度な地図ソリューション

2020年の自動運転機能の実現に向けた開発・整備の取り組みを紹介



②動的情報の生成、地図データのタイムリーな更新に向けた研究開発

自動運転機能の実現には、常に変化する道路上の状況を動的情報として地図データベースを連携させる機能や地図の変化点情報をタイムリーに反映・提供することが期待されています。

今回、日本アイ・ビー・エム(株)協力のもと、IBMクラウドを基盤とした、自動車業界向けIoT※2ソリューションを利用し、車両の走行データ(プローブ情報)を集約・分析・活用する研究開発の取り組みを紹介

③2016年6月に当社、三菱電機(株)、(株)パスコなど15社が出資した「ダイナミックマップ基盤企画株式会社」の取り組み紹介

※1 「ADAS」

Advanced Driver Assistance System : 運転支援システム

※2 「IoT」

Internet of Things : 様々なモノがインターネットに接続され情報交換することにより相互に制御する仕組み

ITS

ZENRIN

Maps to the Future

株式会社ゼンリン <http://www.zenrin.co.jp>
コーポレート本部 経営管理・IR部
IR問い合わせMail : zenrin-ir@zenrin.co.jp